

Life Innovation

シミックHD・中村和男会長兼社長

独占から協業の時代へ

変革期の 業種越えモノづくり 医薬産業

都内で開催されたCPhIジャパン(国際医薬品原料・中間体展)2014で11日、医薬品開発業務受託機関(CRO)大手シミックホールディングス(HD)の中村和男会長兼社長が「医薬品産業の変革期におけるイノベーション創出のテーマで講演した。新しい生産技術やプロセスの創出、従来のビジネスモデルにとらわれないアプローチなど、さまざまなイノベーションを追求することによって、変革期を迎えている医薬品産業のあり方が変わっていくと話した。



中村和男会長兼社長 講演

中村会長は、「バイオベンチャー(VB)を語らずして今の製薬産業を語る(I-MI)などの製薬各社、アカデミア、研究機関、非営利

厚生労働省の城克文医師(国際医薬品原料・中間体展)で特別講演した。先ごろ発表されたアストラ

「ヨーク大学医学病院が隣接するなど新たなバイオテックの集積地として注目されるという。同社では、100億円で以上を投じてルースベルト島に巨大なサイエンスパークを設ける開発も進んでいる。

中村会長はまた、自社製造機能を持たない「オフプレス化」が進んでいる産業の事例として、半導体産業や電機産業を取り囲むことによる「モノづくりのあり方」や「設計なども手掛けるようになる」との考えを示した。また、イヤーが変わってくるという戦略やマネジメン

「大前提である」と解説。そのうえで、これら産業は「輸出して稼ぐことが求められており、国内でどんと増やしていくということではない」のが政策であるとした。「非常に厳しい折り合いの中でマネジメントしていく必要がある」わけだ。

「独占から協業・協業の時代に入った」というのが、欧米などで始まっている医薬品開発加速パートナーシップ(AMP)、TransCelerate、革新的医薬品イニシアチブ(IMI)などの製薬各社、アカデミア、研究機関、非営利団体で共同創業に取り組む事例を紹介。日本でも先ごろ発表されたアストラ

国際医薬品原料・中間体展

CPhIで講演



城克文医師 講演

また薬価制度改定に関し、後発薬が初めから売入を厳しくしたと語り、既に既成品の価格帯を3つにグループ化した点と合わせて、「参入を減らし、価格や品目が多い点も是正して分りやすい後発薬とする」ことで「普及を進める戦略である」という。薬局の点数加算も含め、後発薬使用を促進し、「利幅が下がった分、数量増を促す」政策、薬に市場を明け渡すか、お金を払うかをすること、制度化に関しては「次回でもう一回勝負する」とした。

「ある面では利便性という時期が必要かもしれない」と話した。

「ある面では利便性という時期が必要かもしれない」と話した。

「ある面では利便性という時期が必要かもしれない」と話した。

CPhI Japan 成功裏に閉幕

「ある面では利便性という時期が必要かもしれない」と話した。

「ある面では利便性という時期が必要かもしれない」と話した。



「ある面では利便性という時期が必要かもしれない」と話した。

「ある面では利便性という時期が必要かもしれない」と話した。